

第77回国民体育大会 中国ブロック大会 ハンドボール競技

競技上の注意

1. 競技規則、チーム構成

- ①当大会は、2022年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則によって実施する。
ただし、スローオフエリアは使用せず、パッシブプレーの予告合図後のパスの最大回数は6回とする。
- ②試合への参加はチーム役員4名以内、選手14名以内の計18名以内とし、臨時トレーナー1名は別途認める。
なお、臨時トレーナーは有資格者であること。試合時にTOに提示すること。

2. 競技会場・コート大きさ、競技時間

① コート

競技会場	シシンヨーオークアリーナ (呉市総合体育館)	IHIアリーナ呉 (呉市体育館)
コートの大きさ	40m×20m (A・Bコート)	38m×20m

②競技時間は、全試合 30分-10分(休憩) -30分である。

③開館時間は、8時00分である。

3. 競技方法等

種別	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
競技方法	トーナメント	トーナメント	リーグ	トーナメント

①トーナメント戦で、正規の競技時間が終了したときに同点の場合は、第1延長戦・第2延長戦まで行い、それでもなお同点の場合は7mTC(5人制)を行う。

②リーグ戦での延長戦は行わない。

なお、リーグ戦の順位決定については、次のとおりとする。

(1) 順位決定はポイント方式(勝:2点、引き分け:1点、負:0点)による。

(2) 勝点が同点の場合は、次のa~dの順序で順位を決定する。

a 得失点差の多いチームを上位とする。

b 総得点数の多いチームを上位とする。

c 同点チーム間での対戦結果の勝ちチームを上位とする。

d 抽選で、順位決定を行う。

4. 競技時間・退場(失格)者の表示、終了・チームタイムアウトの合図等

	シシンヨーオークアリーナ	IHIアリーナ呉
競技時間の表示	電光公示時計	
表示方法(加算・減算)	競技時間:加算式、ハーフタイム:減算式	
退場(失格)者の表示	退場者タイマー:減算式	
終了の合図	ホーン	ブザー
チームタイムアウトの合図	ホーン	電子ホイッスル
負傷者カード	記録席での表示	

※退場者の入場に関しては、チームで責任をもっておこなうこと。

5. 大会試合球

- ①試合球は、(公財)日本ハンドボール協会の検定球(モルテン、ミカサの人工皮革公認球)を使用する。
- ②試合日および種別毎のメーカーは次のとおりである。

試合日・種別	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
8/20・21	モルテン	モルテン	モルテン	ミカサ

6. 選手・役員の変更、臨時トレーナー、正誤表の提出

- ①チーム役員・選手の変更・追加は、8月18日(木)までに正規の手続きを踏むこと。
チーム役員の記号は監督を「A」、他の役員をプログラム順に「B・C・D」とする。
- ②チーム役員以外のトレーナーについては、競技当日にテクニカルオフィシャル(TO)に申し出て承諾を得ること。
競技中は交代地域外後方の椅子に着席すること。
- ③プログラムの選手・役員名簿の記載に誤りがある場合には、受付後、大会本部に申し出ること。

7. トスの実施、ユニフォームの確認とチーム役員の服、チーム役員・選手登録証の提出

- ① トスの実施、ユニフォームの確認はそのコートのオフィシャル席前で、第1試合ならびに成年男子・女子決勝戦については競技開始30分前に、それ以外については前の試合のハーフタイムに行う。その際、チーム代表者はGKとCPの全ての種類のユニフォーム（濃淡・番号が明瞭に識別できるもの）を持参すること。調整がつかない場合は、チーム番号の大きいチームが変更すること。
なお、チーム役員は、相手チームのCPのユニフォームと同色のウェアの着用は、認められない。
- ② 服装や装具については、2022年度の「競技ハンドブック（競技運営に関わる通達・服装や保護を目的とした装具に関する規定）」に準ずる。
- ③ チーム代表者は、チーム役員・選手登録証をMO・TDに提出すること。

8. 出場メンバー

役員・選手名簿に記載されたチーム役員・選手だけが公式記録用紙に記載され、競技に参加することができる。チーム役員以外のトレーナー等については、交代地域外に設置された椅子に着席する。

9. 公式記録用紙の確認、チーム役員用カードの着用

- ① 試合開始10分前に監督は、チーム役員の氏名・記号および選手の氏名・番号が公式記録用紙に正しく記載されていることを確認し、サインすること。
- ② チーム役員は、オフィシャル席に用意してある「チーム役員用カード」を着用すること。カードAは監督が、カードB・C・Dは他の役員が着用し、記録用紙に記載された記号と同一であること。試合終了時にはオフィシャルへ返却すること。

10. 松ヤニ・松ヤニスプレー等の使用

- ① 当大会は両面テープのみ使用可とする。
- ② 松ヤニ、松ヤニスプレー、すべり止め用クリーム・樹脂等の使用を禁止する。

11. 更衣、練習会場、二足制の遵守

- ① ユニフォーム等の着替えは、更衣室を利用すること。密にならないよう各チームで協力すること。
- ② 練習会場として、シシンヨーオークアリーナのサブアリーナは使用可能である。但しボールの使用は厳禁とする。
IHIアリーナは準備していない。
- ③ 屋外でウォーミングアップをする際は、屋外用シューズに履き替えること。屋内・外兼用は厳禁とする。二足制を遵守しない場合、失格とすることがある。

12. コート練習、フロアへの入場

- ① コートでの練習は、第1試合のチームは試合前、第2試合以降のチームは試合間とする。なお、コートでの練習は松ヤニ等の付着していないボールを使用し、屋外ボールの持ち込み・使用は禁止とする。
- ② 第2試合以降のチームのフロアへの入場は前の試合の終了後とし、試合の妨げにならないよう静かに待機すること。

13. 交代地域での飲料水の補給

ストロー付または完全にフタのできる飲み口の細い容器を使用し、シート・フロアを濡らすことのないよう注意すること。また、可能な限り共用しないこと。

14. マッチオフィシャル(MO)、テクニカルデレゲート(TD)、裁定委員会

- ① 当大会では、円滑な競技運営のためにマッチオフィシャル・テクニカルデレゲートをおく。
- ② 当大会の競技の健全化を図り、失格（3回目の退場による場合は除く）の判定とともにブルーカードが示された場合、また、試合中以外でも裁定委員会の開催が必要であると競技委員長・審判などが判断した場合には、裁定委員会を開催する。
- ③ 委員は、競技委員長・競技副委員長・審判長・副審判長とし、必要に応じて当該のマッチオフィシャル・テクニカルデレゲート・審判員・チーム役員等の関係者を同席させる。

15. その他

（公財）日本ハンドボール協会HP「2022年度競技規則」ならびに「2022 競技ハンドブック」を参照のこと。
新型コロナウイルス対策については、別紙ガイドラインを参照のこと。